



こども記者団がHBAに 潜入レポート！

ITを通じて

人々の幸せに貢献する

HBAの秘密を探る！

今年で創立60周年を迎えたHBAは、市役所や学校、電力会社、スーパーなど、生活に関わる大切な場所や会社の問題を、コンピューターの力で解決し

みんなが幸せになれる会社をつくることを目的にしている会社です。

社内にはどんな設備があつて、どんな人が働いているんだろう？

そんな疑問を解決するため、

19人の小学生による子ども記者団が、

お父さんやお母さんが働く職場を突撃取材。

今まで知られていなかった

HBAの秘密を調べてくれました。



代表取締役執行役員社長
白幡 一雄



SCOOP!!!! 社長、こども記者会見で夢を語る！
REPORT 1

こども記者団×トップインタビュー

働きやすい職場が
豊かなアイデアを生み
誰もが幸せになれる
社会をつくる



HBAでは、お客様の課題を解決することで、少子高齢化や町の過疎化、地域の公共交通、人手不足など社会全体の課題を解決し、誰もが幸せな社会を実現することを目指しています。そのためには従来の常識を超え、ITの力を使って新しい価値を創っていく必要があります。仕事の起点となるのも、会社の成長を支えるのも「人」。HBAには創業当初から、社員が働きやすい職場環境づくりを重視する風土があります。社員に投資することは技術力を高めることにつながり、それが画期的なサービスや商品を生み出すと考えているからです。私も社員一人ひとりの話を聞くことを大切に、どうすれば仕事がしやすいかを常に考え、研修や技術教育にも力を入れています。今、北海道は多くの課題を抱えています。その課題は日本・世界に共通する課題でもありますが、私たちが知恵を絞る技術力を磨いて北海道が抱える課題を解決できれば、世界の課題を解決する糸口になります。北海道内の地域・人々はもちろん、世界中の人々が幸せに暮らせる社会をつくるのが私の夢。社員の幸せを一番に考えながら会社としても挑戦を続け、ITの力で社会に貢献していきます。

REPORT 2 パパ、ママ、社長に 一問一答 HBAって どんな会社？

**Q. HBAが他の会社と
自慢できることは？**

A. お客さんから依頼された仕事を、最後までしっかりとやり遂げられるところ。どんなに難しいことも途中であきらめず、お客様の役に立つために努力しているよ。

**Q. 仕事をしていて
楽しいことは？**

A. お客さまから「HBAのおかげで業務時間が短縮されて、生まれた時間で別の仕事ができるようになった」と言われたときがとてうれしくて楽しいよ。

**Q. HBAの仕事は未来に
どうつながっている？**

A. 例えば人手不足の問題など、企業や地域の人が困っていることをコンピューターやロボットを使いながら解決できれば、これからのみんなの生活に役立つよ。

**Q. どんな時に
やりがいを感じる？**

A. 困っている人を助けたり、お客さんに喜んでもらえたりしたときにやりがいを感じるよ。お客さんの立場になって提案をするように心掛けているよ。

REPORT 3

こども記者団→HBA潜入レポート

札幌本社ビルへ潜入

たくさんの方が働いていて、楽しそう！

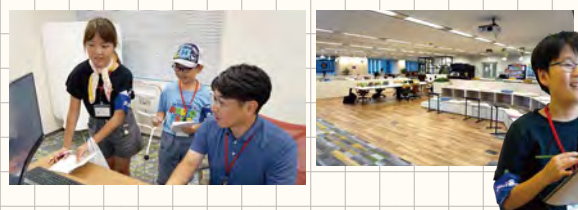
営業や地域の課題を解決する部門など、たくさん部門がありました。こども記者たちは社員と名刺交換をして、ビル内を探検。自動で作業現場を巡回して点検するロボット「HSR」の実演も見学。人が立ち入れない場所も遠隔操作で監視できると聞き、「すごい」と感心する声も相次ぎました。



品川コラボレーションオフィスを突撃

社員が楽しく働ける工夫がいっぱい！

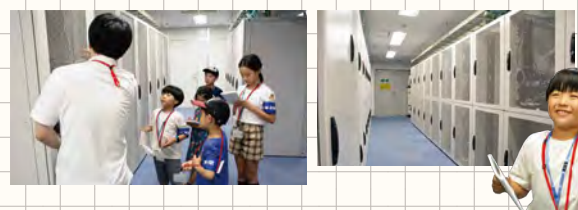
「ABWエリア」は仕事やランチなどに自由に使われ、社員自身が働き方を選べるように作られたスペース。卓球台やダーツのセットもあってびっくり。リフレッシュできるようにと置かれているそう。お弁当やお菓子も買えると聞き、「楽しく働けそう」と感激することも記者たちです。



HBAシステムビル探検

強固なセキュリティ対策に仰天！

顧客の重要なデータが集まるデータセンターには、一般の人は立ち入り禁止。複数の厳しいセキュリティを通過した人だけ入室可能。室内温度が上がるのを防ぐためサーバを冷やす部屋もありました。冬は外気を取り込み活用するなど、北海道の気候を生かした取り組みも行われていました。



苗穂クリエイティブスポットを調査

環境にも配慮した、道内初導入の機械に感動！

使用済みの紙と糊(のり)を原料に、水をほとんど使わず100種類以上の色紙を作れる環境にやさしい機械「PaperLab(ペーパーラボ)」を発見。世界でも最先端の技術で、道内での設置はここのだけ！骨格で人物を認識するセキュリティシステムも見せてもらい、「情報の管理が厳重」「ここで働きたい」との声が上がりました。

